

# ディーゼル員(1/2)

## 1 仕事の内容

ディーゼル員は、バスやトラックのディーゼルエンジンよりさらに大型のディーゼルエンジンの運転、整備を行い船舶に、推進力及び電力を供給する仕事を行います。また、艦内生活に必要な空調、蒸気を維持、供給するため冷房機やボイラーなどの運転、整備も行います。エンジンに関する知識、経験は全く必要ありません。国内のほか、海外でもディーゼル員が乗組員として活躍中です。なお、潜水艦でも勤務できます。

## 2 仕事に就くために

教育隊終了後、機関要員として艦艇に約1年間勤務します。その後第2術科学校の海士ディーゼル課程で約4か月間エンジンについて学びディーゼル員として艦艇勤務となります。

## 3 主な勤務地

ディーゼルエンジンを搭載している艦艇が所属する港であれば全国どこでも勤務が可能です。特に総監部所在地である横須賀、呉、佐世保、舞鶴、大湊に多くの艦船が配備されています。



(実機を使用して整備実習)



(大型機関のピストン抜き出し)



(操縦室で遠隔運転)

# ディーゼル員(2/2)

## 4 取得可能な資格及び免許

免許の種類	免許取得課程等
内燃機関四級海技士(機関)	第2術科学校に免許取得課程があります。
高圧ガス製造保安責任者(乙種機械)	
二級ボイラー技士	海士ディーゼル課程中に受験できます。
危険物取扱者	

下記の写真は、全てディーゼルエンジンをメインエンジンとした艦艇です。



(護衛艦あぶくま型)



(砕氷艦しらせ)



(潜水艦)



(補給艦とわだ型)



(輸送艦おおすみ型)



(掃海母艦うらが型)



(掃海艇すがしま型)